

# 基礎水理シンポジウム2014

基礎水理部会長  
大本 照憲

土木学会水工学委員会の下に組織されております「基礎水理部会」では、その活動の一環として、2007年度より標記のシンポジウムを開催しています。このシンポジウムは、基礎水理に関わる数多くのテーマを選び、これに関わる講演と中身の濃い議論とを通じて該当するテーマの本質的な理解を深めるとともに、未だ残されている研究テーマや問題点について再確認することを目指しています。また、若手研究者や大学院生の参加を歓迎し、水理学研究の意義と面白さ、現状の理解と今後の展望などを伝えていくことも目的のひとつとしています。

今回は「移動床水理学が生態系保全に果たす役割」をテーマとして、「棲み場環境と棲みわけ」に関する最新的话题を大阪府立大学名誉教授の谷田一三先生より、「河道内樹林」に関する最新的话题を国土技術政策総合研究所の服部敦河川研究室長よりご講演頂きます。また、移動床水理学、生態水理学、生態系保全などの分野においてご活躍されておられます埼玉大学大学院理工学研究科教授の田中規夫先生、徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部准教授の河口洋一先生、中央大学研究開発機構准教授の内田龍彦先生、京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻准教授の山上路生先生に最新的话题についてご講演頂きます。このシンポジウムの運営については基礎水理部会で行いますが、部会のメンバー以外の多くの方々の参加を期待しています。お誘い合わせの上、会場にお集まり下さいますようお願い申し上げます。

- ・日時

2014年12月1日(月) 9:30 ~ 16:30(予定)

- ・場所

土木学会講堂 (東京都新宿区四谷一丁目無番地)

- ・プログラム

下記の通り

- ・参加費

無料 (当日直接会場へお越し下さい)

- 09:30 ～ 09:35 開会の挨拶： 大本照憲 基礎水理部会長（熊本大学）
- 09:35 ～ 09:50 趣旨説明： 田中規夫（埼玉大学）  
「生息場や避難場の短期的・長期的時間変化をもたらす「攪乱」の共通認識に向けての境界層水理学や土砂水理学の必要性」
- 09:50 ～ 10:50 基調講演： 谷田一三（大阪府立大学）  
「川虫から見た棲み場環境と棲みわけ – 生物多様性を支える仕組み –」
- 10:50 ～ 11:00 休憩
- 11:00 ～ 11:45 話題提供： 河口洋一（徳島大学）  
「魚類の分布と生息場・物理環境の関係」
- 11:45 ～ 12:00 討議
- 12:00 ～ 13:00 昼休み
- 13:00 ～ 14:00 基調講演： 服部 敦（国土交通省国土技術政策総合研究所）  
「河道内樹林：これまでの取り組みと今後」
- 14:00 ～ 14:10 休憩
- 14:10 ～ 14:55 話題提供： 内田龍彦（中央大学）  
「摩擦速度は粗度層の流れを表しているか？ – 粗度層を含む河床近傍の流れの非平衡性を考慮した解析に基づく検討」
- 14:55 ～ 15:40 話題提供： 山上路生（京都大学）  
「粗面境界層の乱流構造と輸送現象について – 実験水理学の立場から –」
- 15:40 ～ 15:55 討議
- 15:55 ～ 16:25 総合討議（視点：ただし、下記に限らず自由討議）  
・ 境界層の乱流構造と応用生態工学  
・ 水生昆虫の生息場の時空間的変動と土砂水理学  
・ 魚の生息場の時空間的変動と土砂水理学
- 16:25 ～ 16:30 閉会の挨拶： 大本部会長